

目次

薬剤部だより	1
検査科だより	2
栄養管理室だより	3
お知らせ	4
外来医師担当表	5

発行：独立行政法人 国立病院機構 甲府病院 広報委員会

発行責任者：萩野 哲男

住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町11-35

電話：055-253-6131

ファックス：055-251-5597

ホームページ：<https://kofu.hosp.go.jp/>

Eメール：227-nhokofu@mail.hosp.go.jp



御祝膳



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization Kofu National Hospital

甲府病院の理念

理念

私たちは、良質な医療の提供を通じて、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

基本方針

丁寧な説明に努めます 自己研鑽に励みます 職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします
病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します

薬 剤 部 よ り

新型コロナウイルス感染症に対応する
臨時医療施設での勤務を終えて

薬剤部 村山 侑子

2022年3月より新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ施設として東京都から要請を受け、国立病院機構東京病院の敷地内に臨時医療施設が設置されています。ここで働く医療従事者は全国の国立病院機構から派遣されており、私は2022年7月6日から7月12日までの1週間、薬剤部で業務を行いました。

臨時医療施設は、病室やナースステーションがある病棟が2つと、薬剤師の部屋やスタッフ控室、事務室、検査室、外来などがある棟の合計3つから成ります。また、施設で働く職員が感染しないよう、臨時医療施設内は感染区域ごとに色分けされており、その区域ごとに感染対策が施されていました。具体的には、最も感染リスクの高い病室や外来などは赤エリアとなっており、防護具などを身につけることになっていました。患者さんと接することのない薬剤師の部屋やスタッフ控室、事務室、ナースステーション内などは緑エリアとなっており、マスクの着用のみで業務にあたることができました。赤エリアと緑エリアの境が黄色エリアとなっており、患者さんがいないことを確認したうえでマスクとアイシールドを着用し通過することができました。

臨時医療施設では、受け入れ患者さんの持参薬の鑑別や臨時医療施設で使用した薬剤の集計、医師や看護師からの相談対応などを行っていました。これらは甲府病院で普段行っている業務の経験もあり、派遣初日からスムーズに行うことができました。

派遣に行くまでは2年目の私で務まるか不安でしたが、東京病院の職員をはじめ、臨時医療施設内で働く医師や看護師、同じ期間に勤務をしていた薬剤師の先輩方に教えていただきながら、1週間の勤務を終えることができました。持参薬鑑別や医師への処方提案、医師からの相談対応などは普段よりも多く経験できたので、今後の業務にも活かしていきます。



臨時医療施設の薬剤師控室



臨時医療施設の外観



薬剤師部屋での業務の様子

検査科 だより

東京都療養施設コロナ派遣を体験して

検査科 北澤 里奈

第6波が収束し始めた5月末より3週間、東京病院内に増設された東京都療養施設に、臨時職員として派遣されました。

業務内容は、入院時の採血と心電図、容態の変化に合わせた追加検査への対応と東京病院での業務補助でした。検査時のPPE着用はとても暑く、曇り止めを忘れた時には患者の顔も受付票の文字も見えず患者確認に苦戦したため、事前準備の大切さが身に沁みました。

施設の感染管理として全病室内は陰圧、色分けによるゾーニングが為されていました。主に、認知機能の低下がみられる方を受け入れており、徘徊の恐れのある患者の病室は外から施錠し、職員の感染を防ぐ対策も徹底されていました。

検査前の説明時には、「扉が開かないんだよね。」や「俺の部屋どこだっけ。」と関係のない質問を繰り返す患者もあり、検査に対する理解を得るのに時間がかかり、検査時の体位確保にも手間取ってしまいました。コロナ禍の病棟で患者生活に介入する為に、状況や症状に合わせた患者接遇を学ぶ必要性を感じました。

現在第7波のピークアウトを待たず、第8波の到来が懸念されている中、携わる医療関係者の疲労は癒えることなく、業務は増える一方です。今後 With コロナ社会となる中で、コロナウイルスと共存する新しいライフスタイルの確立が必要になっていくのではないのでしょうか。



臨時施設



検査室



PPE 着衣



PPE 脱衣



PPE 着用の様子

国立病院機構甲府病院 外来医師担当表

2022年10月1日現在

		月	火	水	木	金		
一階	消化器内科	消化器内科診察室	奥脇 徹也 (受付は10:30まで)	白勢 大門 (受付は10:30まで)	鈴木 雄一朗 (受付は10:30まで)			
	消化器外科	消化器内科診察室				中田 祐紀 (外科)		
		診察室1	鈴木 哲也	鈴木 哲也	鈴木 哲也	鈴木 哲也	中田 祐紀	
		診察室2	浅川 真巳	浅川 真巳	浅川 真巳	浅川 真巳	土屋 雅人	
		診察室3			白石 謙介			
		(5階)化学療法	診察室1		○	○		
		診察室2		○	○			
	内科	診察室3	渡邊 美教	高 怜		中尾 篤人		
		診察室4	黒澤 理恵 (予約のみ)	黒澤 理恵	黒澤 理恵		黒澤 理恵	
		診察室5		古屋 直子	古屋 直子		大学医師	
	循環器内科	診察室6	薬袋 路子		中村 貴光 (受付は10:30まで)		黒木 健志	
	呼吸器内科	診察室3			古谷 智 (午後)		副島 研造 (午後)	
	神経内科	診察室7			太田恵美子		太田恵美子	
	脳神経外科	診察室8	長沼 博文	長沼 博文		長沼 博文	長沼 博文	
		診察室9(共用)					大学医師	
皮膚科	診察室9(共用)			川村 龍吉 (受付は10:30まで)				
整形外科 (スポーツ・膝疾患 治療センター)	整形1	午前	萩野 哲男	河野 紘之	白倉 翔平	萩野 哲男	齋藤 正憲	
		午後	第1週 小児外来 若生 政憲					
	整形2	午前	山下 隆	千賀 進也	千賀 進也	河野 紘之	千賀 進也	
		午後				脊椎外来 勝 麻里那		
	整形3	午前		落合 聡司	落合 聡司	落合 聡司		
	整形4	午前		山下 隆	齋藤 正憲	山下 隆		
	整形5	午前	装具外来	矢野 明彦	装具外来		装具外来	
	診察室9(共用)	午前	古屋 直人					
診察室10(共用)	午前	白倉 翔平				矢野 明彦		
二階	検査室	内視鏡	午前(上部)			村松 篤		
			午後(下部)			若尾 聡士		
	小児科	1	午前	内田 則彦	望月 美恵	望月 美恵	沢登 恵美	沢登 恵美
		専門外来1(午後・予約のみ)	第2・4週 沢登 恵美(腎)	久富 幹則 石井佐綾香 (フォローアップ・乳健)	第4週 小児循環器 大学医師	予防接種 シナジス(冬季)	中澤 瑞葉 (フォローアップ)	
		専門外来2(午後・予約のみ)	第3週 小児循環器 大学医師		中村 幸介 (神経)	内田 則彦 (肥満・栄養)		
		専門外来3(午後・予約のみ)			中村 幸介 (神経)	石井佐綾香 (神経)	第1・3週 小野智佳子(摂食)	
	産婦人科	1	午前	滝澤 基	雨宮 厚仁	笹津 聡子	雨宮 厚仁	滝澤 基
			午後(予約のみ)	出生前遺伝 カウンセリング外来				
		2(予約のみ)		雨宮 厚仁	笹津 聡子	第1.3週 雨宮厚仁 第2.4.5週 滝澤 基	滝澤 基	笹津 聡子
	眼科		古屋 敏江 (予約のみ)	古屋 敏江	古屋 敏江		古屋 敏江	
泌尿器科(予約のみ)		滝花 義男(奇数週)						
耳鼻咽喉科					矢崎 裕久			

- 受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)
(※水曜日午後呼吸器内科の受付時間は13:00～15:00です(診察13:00～16:00))
- 各科診療の予約状況により、初診及び予約外再診の方の外来診療をお受けできない場合があります。泌尿器科の初診の受付はありません。

※右記のものについては事前の
●小児科 専門外来 ●毎月第4金曜日午後 外来糖尿病教室 ●出生前遺伝カウンセリング外来
●乳児健診 毎週火・金曜日 ●予防接種(小児科)毎週木曜日

助産師・看護師による専門外来のご案内

- 母乳外来(月～金曜日) ●フットケア(開催曜日はお問い合わせください) ●育児相談(月～金曜日)(※事前の電話予約をお願いいたします)

特殊外来ご案内

●「物忘れ外来」については、脳神経外科(月・火・木・金曜日)で行っています。(物忘れ外来の初回受診時は、紹介状が必要です。紹介状がない場合は、外来診療をお受けできない場合があります)ご家族が「忘れることが多い」と気づいたら、受診されることをお勧めします。

作品募集

「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。
■宛先 国立病院機構甲府病院 経営企画係 高橋
e-mail: takahashi.riho.da@mail.hosp.go.jp

2022年度職員採用試験案内

看護師・助産師・看護助手の採用試験(パート)は随時行っています。	
申し込み方法	※下記の電話番号に(平日8:30～17:15)直接ご連絡下さい。
連絡先	国立病院機構甲府病院 庶務係長 TEL: 055-253-6131 FAX: 055-251-5597

編集後記

10月に入り、朝晩の気温もぐっと下がり肌寒くなりました。これから、木の葉が色づき始め、秋を感じさせてくれることでしょう。
新型コロナウイルスの第7波も落ち着いてきましたが、まだまだ予断を許さない状況です。引き続き感染対策は十分に行っていきましょう。
(編集委員 H・A)